

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
英語コミュニケーション I	1	A B C D E F	3	必履修	105 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	New Rays English Communication I
使用教材等	New Rays English Communication I WORKBOOK Standard New Rays English Communication I Listening WORKBOOK クラウンチャックで英単語 Standard Listening Reading ② Joy Reader ①～③ Greek Myths Forever, Grimm's Fairy Tales, The Wizard of Oz, Three Fairy Tales from Oscar Wilde

科目（英語コミュニケーション I）の目標

学習目標	<p>【知識及び技能】 テキストで扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を十分に理解し、内容を読んだり聞いたり書いたりできる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 テキストで扱う現代の世界の諸問題について、文脈や背景知識を活用して内容を深く理解し、自分の意見を持ち、他者と意見を共有できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 予習・復習、小テスト・課題等に日々粘り強く取り組んだり、テキストの背景知識や使用される表現について自ら積極的に調べるなど本文の理解に必要な情報を粘り強く得ようとする。</p>
------	--

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	<p>Chapter 1 The Future Is Yours. Chapter 2 The Power of Design Chapter 3 Plastic Is Everywhere Chapter 4 OriHime Reading g Passage 1 The Window(夏休み課題) Greek Myths Forever(ゴールデンウィーク課題) Grimm's Fairy Tales(夏休み課題)</p> <p>【知】 各チャプターで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して、本文を聞き、読むことができる。</p> <p>【思】 チャプターそれぞれの学習のねらいである、「これから生きる力」「デザインの力」「癒しの力」「問題を解決する仕方」を理解し、その理解に基づいて自分の意見を持ち、クラスメートと話し合うことができる。</p> <p>【態】 予習・復習、小テスト等にしっかり取り組む。テキストの背景知識や使用される表現について自ら積極的に調べることができる。</p>	<p>・内容理解にかかわる読解力、背景知識の伸長</p> <p>・内容を理解し、他者に発表するために必要な単語力、リスニング力、速読力の伸長、</p> <p>・教材 教科書、副教材、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知】 各チャプターで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して身に付けている。</p> <p>【思】 各チャプターで扱われる諸問題について、文脈や背景知識から内容を理解し、自分なりの意見を持ち、クラスメートと話し合う。</p> <p>【態】 予習・復習をしっかり行い、小テストや課題等に目標を定めて取り組み成果を出す。テキストの内容理解に必要な文脈を把握し、背景知識を自ら調べて内容を理解しようとする。</p>

<p>2</p>	<p>Chapter 5 Satoko and Nada Chapter 6 The Voice of Children Chapter 7 Human Habitation on Mars Chapter 8 A Loving Story The Wizard of Oz(冬休み課題)</p> <p><b>【知】</b> 各チャプターで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して、本文を聞き、読むことができる。また、身に付けた表現を使って、英訳ができる。</p> <p><b>【思】</b> チャプターそれぞれの学習のねらいである、「対話の力」「表現の力」「探索の力」「愛の力」を理解し、その理解に基づいて自分の意見を発表し、クラスメートと話し合うことができる。</p> <p><b>【態】</b> 予習・復習、小テスト等に行き、小テストや課題等に目標を定めて取り組み成果を出す。テキストの内容理解に必要な文脈を正確に把握し、必要な背景知識を自ら調べて深く内容を理解しようとする。</p>	<p>・内容理解にかかわる読解力、背景知識の伸長</p> <p>・内容を理解し、他者に発表するために必要な単語力、リスニング力、速読力の伸長、</p> <p>・教材 教科書、副教材、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p><b>【知】</b> 各チャプターで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して身に付け、活用している。</p> <p><b>【思】</b> 各チャプターで扱われる諸問題について、文脈や背景知識から内容を深く理解し、自分なりの意見を持って、クラスメートに発表する。</p> <p><b>【態】</b> 予習・復習をしっかりと行い、小テストや課題等に目標を定めて取り組み成果を出す。テキストの内容理解に必要な文脈を正確に把握し、必要な背景知識を自ら調べて深く内容を理解しようとする。</p>
<p>3</p>	<p>Chapter 9 Edo, the Resilient City Chapter 10 A Quality Education for All Reading g Passage 2 The Tale of the Three Brothers(推薦入試きかん Three Fairy Tales from Oscar Wilde</p> <p><b>【知】</b> 各チャプターで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して、本文を聞き、読むことができる。身に付けた表現等を活用して短い英文文ができる。</p> <p><b>【思】</b> チャプターそれぞれの学習のねらいである、「歴史の力」「教育の力」を理解し、その理解に基づいて自分の意見を発表し、クラスメートと話し合いを深められる。</p> <p><b>【態】</b> 予習・復習、小テスト等に行き、小テストや課題等に目標を定めて取り組み成果を出す。テキストの内容理解に必要な文脈を正確に把握し、背景知識を自ら調べて深く内容を理解し、それをクラスメートとも共有しようとする。</p>	<p>・内容理解にかかわる読解力、背景知識の伸長</p> <p>・内容を理解し、他者に発表するために必要な単語力、リスニング力、速読力の伸長、</p> <p>・教材 教科書、副教材、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p><b>【知】</b> 各チャプターで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して身に付け、積極的にアウトプットする。</p> <p><b>【思】</b> 各チャプターで扱われる諸問題について、文脈や背景知識から内容を深く理解し、自分の意見をクラスメートと共有し、諸問題の解決に関心を持つ。</p> <p><b>【態】</b> 予習・復習をしっかりと行い、小テストや課題等に目標を定めて取り組み成果を出す。テキストの内容理解に必要な文脈を正確に把握し、背景知識を自ら調べて深く内容を理解し、それをクラスメートとも共有しようとする。</p>

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。